

センターからのお知らせ

「性・エイズに関する学習会 2021」の報告

3月20日、27日の2週にわたり、「性・エイズに関する学習会 2021」を Zoom配信で行いました。

初めて学ぶ人から性教育に携わっている人、医療を学んでいる学生、デートDVの支援者と様々な活動をされている人の参加がありました。

ここ1~2年、性・エイズ・ジェンダー・性暴力・デートDVが大きく取り上げられることが増え、関心の高まりを感じました。「日本と海外の比較から日本の性教育状況を改めて知った」「誰もが自由に、知りたいことを学べる機会が増えてほしい」「暴力に大きい小さいはない、という言葉が印象的だった」との声がありました。



オンラインプログラム「me and them」について

ジェンダー平等の実現を目指し、内閣府と公益社団法人ガールスカウト日本連盟が中学生・高校生年代を対象としたオンラインプログラム「me and them」を公開しました。

固定観念にとらわれず、多様性を認め合えるようになることや、性別を問わず自分の可能性を信じ、よりよい未来を構築していくことを目的に作成されました。ジェンダーという言葉だけでなく、ジェンダーの役割、デートDVについても学べます。

詳しくはこちら→<https://www.girlscout.or.jp/meandthem/>



©Girl Scouts of Japan



4月は「若年層の性暴力被害予防月間」

性犯罪・性暴力は被害者の尊厳を著しく踏みにじる行為で、心身に長期にわたり重大な悪影響を及ぼします。性別に関係なく10代から20代の若年層を狙った性犯罪・性暴力は、その年代の未熟さに付け込んだ許しがたい人権侵害であり、決して許されるものではありません。

詳しくはこちら↓

https://www.gender.go.jp/policy/no_violence/jakunengekkan/



HIV・エイズ、性感染症の正しい知識・最新情報をわかりやすく解説!



URL <https://yaaic.gr.jp/>

発行:横浜 AIDS 市民活動センター
公益財団法人横浜YMCAが横浜市から事業を受託しています。
〒231-0015 横浜市中区尾上町3丁目39番地
尾上町ビル9F / TEL:045-650-5421 FAX:
045-650-5422 / E-mail: info@yaaic.gr.jp
平日:13:00~20:00 / 土・祝:10:00~17:00
休館:日/火
監修:横浜市健康福祉局健康安全課

特集 HIV 検査が大切なわけ

2020年 横浜市 HIV 感染者・エイズ患者の動向について

2020年に横浜市内で新たに報告された「HIV感染者」は19件、「エイズ患者」は11件、総数30件でした。2020年は新型コロナウイルス感染症の流行に伴う緊急事態宣言等により、前年と比較して相談数、HIV検査数ともに減少しました。

2020年横浜市 HIV 感染者・エイズ患者の動向

	2018年	2019年	2020年
HIV感染者・エイズ患者数	35件	27件	30件
HIV検査数	2,855件	2,870件	1,483件
HIV相談数	4,692件	4,960件	2,913件
梅毒患者数	148件	117件	109件

年齢区分別報告数では、HIV感染者は20歳代、エイズ患者は30歳代が最も多く、推定感染経路別報告割合では、同性間性的接触が66.7%、次いで異性間性的接触が20%となっています。推定感染地域別報告割合では国内86.7%、国外10%となっています。

(注)

「HIV感染者」とは、HIV(ヒト免疫不全ウイルス)に感染しているが、エイズを発症していない状態で報告されたもの、「エイズ患者」とはエイズと診断されて報告されたものをいう。

特集 HIV 検査が大切なわけ

コムちゃん、初めて検査を受けるとき、どうすればいいのが教えてください！

Q:どんな時に HIV 検査を受けたほうがいいの？

感染予防をしていない(コンドームを使用しない)性的接触を行ったとき、気になる症状があるとき、注射針を他人と共有したとき、性感染症にかかったときは HIV に感染している可能性があるため、検査を受けましょう。

Q:HIV 検査を受けて、感染が分かったらどうなるの？

必要な治療のために医療機関を紹介してくれます。心配事など相談に乗ってくれます。安心です！

Q:自覚症状が出てから検査を受けてもいいですか？

HIV 感染からエイズ発症までに自覚症状がない「無症候期」があり、数年から 10 年近く続くことがあります。早期治療に結び付けるためには、自覚症状がなくても、検査を受けましょう。

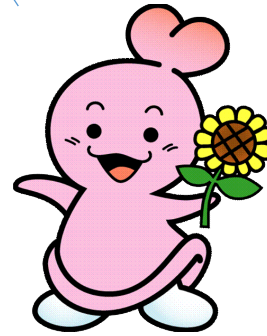
Q:今は良い薬があるのではないですか？

完治する薬はまだ発見されていませんが、HIV 感染を早期発見し、ウイルスの増殖を防ぐ治療を続けていけば、健康な状態で生活することができます。現在では 1 日 1 錠の服用で済む薬があります。

Q:どんなことで HIV に感染するの？

性的接触、血液感染、母子感染の 3 つの感染経路があります。咳やくしゃみ、握手、洋式トイレ、一緒に食事、プール、虫刺されなどの日常生活で感染することはありません。

自分に合った
時間・場所で
検査が
受けられます！



センターのマスコット:コムちゃん

HIV 検査は市内の保健所で、無料・匿名で受検できます。

どこで？	いくら？	個人情報？
保健所	無料	匿名 (名前を言わなくてよい)
一般医療機関 (内科、泌尿器科、産婦人科、性病科など)	有料 (自費診療の場合) 5000円～ 10000円くらい	カルテ作成時に名前・住所を確認するが情報は 守秘される

※保健所では決められた検査と相談を行い、診断や治療は行っていません。症状がある場合は、医療機関を受診しましょう。

横浜市内で検査を希望するときは、「2021 年度横浜市 HIV・梅毒検査」の一覧から調べることができます。身近な 18 区の福祉保健センター以外に夜間検査、土曜日、日曜日の検査会場や検査時間がわかります。詳しくはこちら → [横浜市保健所 エイズ](#) で検索してください。

検査に関する情報は、「HIV 検査相談マップ」が便利です。詳しくはこちら → <https://www.hivkensa.com/>

《 横浜市 HIV 検査の受け方 》

STEP
1

予約

お電話ください

STEP
2

受付

無料・匿名です

STEP
3

検査

血液検査をします

STEP
4

結果

結果は 1 週間後

注意:

感染した可能性のあった日から 3 か月以上たっていない場合、正確な結果が出ないことがあります。

感染症の流行等により検査が変更になる場合があります。

詳しくはこちら → [横浜市保健所 エイズ](#) で検索してください。



【HIV 検査が大切なわけ】

HIV は性的接触での感染が全体の 87.2%です(参照:2019 年エイズ発生動向)。性的接触の経験があれば年齢・性別に関係なく誰でも感染の可能性があります。感染予防ができなかった時は、HIV 検査が大切です。自分の感染を知ることができ、治療に結びつき、他者に感染させないことにもつながります。
「私にかぎって・・・きっと大丈夫」と考えず、一度 HIV 検査を受けてみましょう！